

講師たちが追い求めるピアノの音はこの音なのです。

# ファカルティ コンサート

ピアノフォーラム in 仙台2019

ヨハン・シュミット Johan Schmidt

庄司 美知子 Michiko Shoji

菅野 潤 Jun Kanno

マヌエラ・ゴウヴェイア Manuela Gouveia

2019年 **9月13日** (金)

19:00開演 (18:30開場)

宮城野区文化センター

PaToNaホール

(JR仙石線「陸前原ノ町」下車徒歩1分)

※ご来場の際は公共交通機関をご利用ください。

※未就学のお子様のご入場はご遠慮ください。

**Program** ※曲目・曲順は変更になる場合もございます。

J.S.バッハ: パルティータ 第1番 変ロ長調 BWV 825

カルロス・セイシャス: 3つのソナタ  
(マヌエラ・ゴウヴェイア)

モーツァルト: ピアノ・ソナタ 第12番 へ長調 KV 332  
(菅野 潤)

シューベルト: 幻想曲 へ短調 D.940  
(菅野 潤/庄司美知子)

リスト: 巡礼の年 第2年「イタリア」より～ダンテを読んで  
(ヨハン・シュミット)

同時開催ピアノフォーラム in 仙台 2019年9月14日(土)～16日(月・祝)

全席自由 一般: 3,000円/大学院生以下 (U25): 2,000円

プレイガイド: 藤崎・カワイ仙台・銀座山野楽器仙台店3Fピアノフロア・  
宮城野区文化センター・仙台中央音楽センター

主催: 仙台中央音楽センター 制作協力: HAL PLANNING

後援: 河北新報社/TBC東北放送/仙台放送/ミヤギテレビ/KHB東日本放送/エフエム仙台/

一般社団法人全日本ピアノ指導者協会/公益財団法人仙台市市民文化事業団

お問合せ: 仙台中央音楽センター **022-264-1846** (平日10:00～18:00)

仙台中央音楽センター公式URL: <http://www.scmct.com/>

楽都・仙台。国際的なコンクールや音楽祭の開催の傍らで、国際的な音楽家を養成する講座は、これまで単独での開催はあったものの、集中的に、かつ、開かれた形で行われる機会が多くありませんでした。この講習会では、「ピアノを学ぶ」中学生から、本格的に演奏家を志し、留学を考える若い演奏家たちに、音楽的・技術的指導はもちろんのこと、アンサンブル力、作品に関する多角的な理解を深める充実したカリキュラムを予定しています。そしてそのフォーラム初日オープニングを飾るのは、講師たちによる素晴らしいガラ・コンサートです。

## 菅野 潤 Jun KANNO

桐朋学園大学音楽学部ピアノ科卒業。この間、三浦浩、御木本澄子、高良芳枝、安川加壽子の各氏に師事。フランス政府給費留学生として、パリ国立高等音楽院に留学、ピアノをイヴォンヌ・ロリオ、室内楽をモーリス・クリュットの各氏に師事し、ピアノ科、室内楽科を、それぞれ一等賞を得て卒業。パリ・エコール・ノルマル音楽院に在籍し、審査員全員一致で演奏家資格を得る。ヴィオッティ、パリ国際室内楽他国際コンクールに上位入賞、現在、パリを拠点とし、内外で演奏活動を行っている。これまでに、リサイタルの他、協奏曲のソリストとしても活躍。室内楽の分野では、ウィーン弦楽四重奏団、ザルツブルク・モーツァルテウム四重奏団、またピエール・アモイヤル、ヴェルナー・ヒンク、ブルーノ・バスキエの各氏らと、欧州各国及び日本で定期的に共演している。元バルセロナ・カレーロ音楽院教授。ドイツ、フランス、ベルギー、イタリア、スペイン、ポルトガル、米国、韓国及び日本国内でも、公開講座、夏期講習の指導を行うほか数々の国際コンクールの審査員として招聘されている。全日本ピアノ指導者協会正会員。

## ヨハン・シュミット Johan SCHMIDT

ザルツブルクの名教師カール・ハインツ・ケマリック、ゲンリフ・ネイガウスの後継者ともいわれるロシアのエフゲニー・マリーニン、そして、スペインものだけでなくベートーヴェンの権威としても名高いエドゥアルド・デル・プエヨの世界的権威に師事し、ドイツやロシアをはじめとしたヨーロッパの伝統的なピアノ奏法を習得。これまでにエリザベト王妃国際音楽コンクールやマリア・カナルス・コンクールのピアノ部門、チャイコフスキー・コンクール(第3位)、ヴァン・クライバーン国際コンクールなどをはじめとした著名なコンクールで上位入賞。フランス国立管弦楽団、新日本フィルハーモニー交響楽団など各国のオーケストラと協演するほか、コンサートヘボウ、ラフマニノフホールなど著名なホールにおいてリサイタルを開催。現在、ベルギー王立管弦楽団、リエージュ・フィルハーモニー管弦楽団、王立フランドル管弦楽団と定期的に共演しているほか、ソロや室内楽でも活躍中。CD録音にも積極的に取り組んでいる。ベルギー王立ブリュッセル音楽院教授。洗足学園音楽大学特任教授。

## マヌエラ・ゴウヴェイア Manuela GOUVEIA

ポルトガル、ポルト生まれ。ヘレナ・コスタに師事し、5歳で最初のリサイタルを行う。ポルト音楽院を経て、コシラッド・ハンセンに師事。ドイツの音楽大学修士課程を最高位の成績で修了。その後、オーストリア、イギリス、イタリア、そしてドイツで、イエルク・デムス、パウル・バドラー＝スコダ、ヴラド・ベルルミュテルのもと研鑽を積む。ヨーロッパの主要オーケストラや指揮者と共演するほか、リサイタル、室内楽等で活躍。その名はテレビやラジオ放送により広く内外に知られるようになる。多数の国際コンクールで入賞、また、1993年にはポルトガル共和国より勲章を授与される。18世紀から20世紀にかけてのこれまで録音されていないポルトガルのピアノ作品をレパートリーとし、広めた功績は大きい。ピアノ教育者としても活躍し各国からマスタークラス講師として招聘されている。ヨーロッパピアノ教育連盟の会員でもあり、自らが創設者のひとりでもあるオビドス国際ピアノマスタークラス&フェスティバルは世界的な評判を得ている。

## 庄司 美知子 Michiko SHOJI

桐朋学園大学音楽学部ピアノ科を卒業。ピアノを三浦浩、江戸弘子の各氏に師事。チェンバロを中川旬氏に、室内楽をゲルハルト・ボッセ氏、ロマン・オルトナー氏に師事。仙台フィルハーモニー管弦楽団、チェコ六重奏団、東京ゾリステンなど、多くの演奏家と共演。バッハの鍵盤音楽、協奏曲シリーズ、モーツァルトの室内楽シリーズなど、室内楽や伴奏、リサイタルなど幅広く演奏活動を行う。ピアノ教育にも意欲的に携わり後進の指導にあたっており、公開レッスン、公開講座の講師を務める。2000年よりスペイン、ベルギー、ブラハ、ウィーン、クロアチア等ヨーロッパ、米国、韓国など各地の音楽祭の講師、審査員として招聘を受けている。全日本ピアノ指導者協会正会員、仙台国際音楽コンクール企画推進委員などを務めるほか、2011年の東日本大震災以降、被災地へピアノをとどける会の委員長として活動し、512台(2018年2月現在)のピアノを被災地へ届けている。仙台中央音楽センター主宰。

## ピアノフォーラム in 仙台 講習会 2019年9月14日(土)～16日(月・祝)

聴講生募集中 聴講料: 1日券: 2,000円/通し券: 5,000円

【特別講座】メンデルスゾーン再検討 講師: 西原 稔(音楽学・桐朋学園大学教授)

①14日(土) 17:00～18:30 ②15日(日) 10:30～12:00

1回券: 3,000円/通し券: 5,000円

会場・お問合せ: 仙台中央音楽センター

980-0021 仙台市青葉区中央4-4-4 TEL: 022-264-1846 FAX: 022-398-6623

E-mail: [info@scmct.com](mailto:info@scmct.com) 仙台中央音楽センターで検索

[www.facebook.com/pianoforuminsendai/](http://www.facebook.com/pianoforuminsendai/)